

4 五十音順 当用漢字音訓索引

- かたかなは音，ひらがなは訓を示す。
- 点線の左の漢字は，「当用漢字別表」にある字。すなわち義務教育で読み書きともに教えるものである。
- ゴジックは昭和 34. 7. 11 内閣告示第 1 号「送りがなのつけ方」による送りがなを示す。
- * 印は昭和 23. 2. 16 内閣告示第 2 号の「当用漢字音訓表」中の傍線をつけた音訓を示す。たとえば「ク^{*} 久」は，久の字音クは久遠（クオン）など限られたことばにのみ用いられることを示す。

〔あ〕		あげる	上 揚	熱	扱
ア	亜哀	あさ	朝 麻	あつかう	集
アイ	愛	あざ	字 浅	あつまる	充
あい	相	あさい	欺	あてる	跡
あいだ	間	あざむく	足	あと	穴
あう	合	あし	味	あな	侮
	会	あじ	預	あなどる	兄
あお・あおい	青	あずける	汗	あに	姉
あおぐ	仰	あせ	遊	あね	浴
あか・あかい	赤	あそぶ	価	あびる	油
あかつき	曉	あたい	値	あぶら	尼
あかるい	明	あたえる	与	あま	甘
あき	秋	あたたかい	暖	あまい	余
あきなう	商	あたま	頭	あまる	網
あきらか	明	あたらしい	新	あみ	編
あきる	飽	あたる	当	あむ	天
アク	惡	アツ	庄	あめ	雨
あける	握	あつい	厚		危
	明		暑	あやうい	

35

う・え・お

疫 役易益液駅 枝悦越謁閱偉 獲沿炎宴煙援鉛縁 汚尾雄緒 押欧殴翁	エキ えだ エツ えらい えらぶ える エン [お] オ お おいる オウ	海産 梅埋 浦裏占恨 潤漆麗憂 雲運 依恵柄江 映詠影鋭 描	うみ うむ うめ うめる うやまう うら うらなう うらむ うる うるおう うるし うるわしい うれい・うれえる ウン [え] エ *エ え *え エイ えがく	羽 飢 伺浮 請 薄 謡 擊 訴映 腕促奪 馬生	右雨上植魚 承受動牛氏失後 歌 疑内打討美写 移器 馬生 うえ うえる うお うかがう うかぶ・うく うけたまわる うける うごく うし うじ うしなう うしろ うすい うた・うたう うたい うたがう うち うつ うつくしい うつす うったえる うつる うつわ うで うながす うぼう うま うまれる
--	--	---	--	---	---

おう	奥桜 横応黄負追	おいしい おしえる おす おす	修 教 推	惜 雄 押	おもむき おや およぐ および・およぶ	趣 親 泳 及降
おうぎ おおい おおきい おおせ	扇 多大 仰	おそう おそれ おそれる・おそろ しい おだやか		襲 虞 恐	おりる おる	折織 愚卸
おおやけ おか おかす	公 犯 丘	おちいる おちる オツ	落 夫 音	陷 乙	おろか おろす おわる オン	終音恩温遠 穩
おがむ おき おぎなう おきる オク	押 補 起 屋 億 置 送	おと おとうと おとこ おとずれる おとる	弟 男 訪		*オン おん おんな	御 女
おく おくる おくれる おこたる おこなう おこる おこる おさえる おさない おさめる	憶奥 贈 遅 怠 行 起 興 押 幼 納 収 治	おとる おどる おとろえる おどろく おなじ おに おのおの おび・おびる おびやかす おぼえる おも おもい おもう おもて	同 各 帯 覺 面 重 思 表	衰 驚 鬼 脅	[か] カ 下 火 化 加 可 仮 何 果 河 花 科	佳 架 華 菓 暇 嫁 禍 箇 寡

<p>夏家荷貨過歌価課 蚊香 雅餓 介灰戒怪皆悔塊懷壞 日我賀芽画回会快改界海械開階絵解貝外害</p>	<p>かいこ かう かえす かえりみる かえる かえる かお かかける かがみ かがやく かかる かぎる カク かく ガク かくれる かけ かける</p>	<p>街 銅 顧 換替 掲 輝 核郭隔較閣獲嚇穫 岳 隱陰影掛 蚕買返省帰 顔 鏡 係限各角画革客格確抔覺書学樂額 欠 かこむ かさねる かざる かしこい かす かず・かぞえる かぜ かた かたい かたち かたな かたむく かためる かたる カツ かつ ガツ かど かなしい かならず かね かねる *かの かぶ</p>	<p>駈 飾賢 肩片 堅 傾 括割渴滑轄且 鐘 彼 匪重 貸数風方型形難形刀 固語活 勝月門悲必金兼 株</p>
---	--	--	--

か

*か
ガ

カイ

かい
ガイ

机忌奇岐祈軌鬼既飢揮棋棄幾輝騎
宜欺偽戲儀擬犧菊刻

汽季紀氣記起基歸寄規喜期貴旗器機生木黃技義疑議

消聞岸

あ
半

きえる
キク
きく
きざむ
きし

患換喚棺閑敢堪款監寬憾緩環還簡艦鑑甲丸含
芳冠
企危

関 歛 館 観
元 岸 岩 眼 顔 願 考
己 希

元岸岩眼顏願考

己希

壁髮雷柄辛狩刈彼枯干甘汗肝卷冠看勘陷貫乾

* カン
ガン

かんがえる
かんばしい
かんむり

〔き〕

牛

構上神紙通 倭借輕 川皮側代變刊完官寒間幹感勸慣漠管

かべ
かまえる
かみ

かみなり
かよう
がら
からい
かり
かり
かりる
かる
かるい
かれ
かれる
かわ

かわる

カン

斤菌筋琴緊謹吟	近均金勤禁今銀	口九工区句供苦久宮功具空食宮草	紅愚悔偶遇莖臭鎖腐
〔く〕			
キン	*キンギン	ク	*ク
距抛御	凶叫狂況享峽恐恭狹脅胸郷驚響	仰凝眺	霧窮
許魚漁清共供京協教強経境橋興鏡競	兄行業形曲局極玉切着		
ギョ	きよい キョウ	*キョウ ギョウ	キョク
傷	鍛吉詰喫	肝却脚虐弓及丘吸朽泣糾窮	巨拒虚
築競北	絹君決客逆九久旧休求究急宮級救球給牛去居拳		
きず きずく きそう きた きたえる キチ キツ			
きぬ きみ きめる きも キヤク			
ギヤク キュウ			
ギョウ キョ			
			きわめる

くじら	鯨	くわえる	加	詳企薰勲	*ケイ	警鷄
くすり	藥	くわしい	君訓軍郡群	懸	競境芸	迎鯨汚劇激擊
くせ	癖	くわだてる		家氣化仮毛外下解兄形系京係型計敬景経輕	消	削傑穴
くだ	管	クン			欠血決結潔月	煙獸
くだく	碎	グン			險犬件見券研建兼健間紅	肩軒堅圈獻遣儉賢劍謙
くだる	朽屈掘		[け]			
くち	圯	ケ			けす	
くちる	圯	*ケ			けずる	
クツ	圯	けゲ			ケツ	
くに	國配首組雲					
くぼる	曇悔				ゲツ	
くび	倉藏位暗				けむり	
くむ	暮				けもの	
くも	比来				けわしい	
くもる	苦車				ケン	
くやむ	紅暮					
くら	桑	ケイ				
くらい						
くらい						
くらす						
くらべる						
くる						
くるう						
くるしい						
くるま						
くれない						
くれる						
くろ・くろい						
くわ						

<p>醇綱稿鋼購衡仰請拷剛豪郷被越凍克刻酷獄焦凍 鉦構広興講合号業強声肥氷告谷国黒穀石極九心志試</p>	<p>*コウ コウ ゴウ *ゴウ コウむる コえ コえる コおり コおる コク *コク ゴク コげる コごえる コこのつ コこのろ コこのろぎす コこのろみる</p>	<p>悟御基恋濃恋孔巧甲江好抗坑攻更恒拘肯荒郊降香侯貢紅控慌項絞硬 語誤護期口工公功交光后向考行孝効幸厚皇後校耕航候高康港黄</p>	<p>*ゴ コい コい コいしい コウ</p>	<p>頭繭懸幻玄弦源呼枯孤弧雇誇鼓顧虚抛互呉娛 権憲県険検験元言限原現滅嚴己戸古固故個庫湖去小子粉五午後</p>	<p>ゲン コ *コ こ ィ</p>
---	--	---	---	---	--

【こ】

43

さ・し

時 辭 路 塩 式 色 識 織 直 食	潮	敷 軸 茂 沈	慕	疾 執 漆 湿	忍
静	下 舌	從 親 七 質 失 室 質	日 実 品 死		
* じ し お シ キ	* シ キ ジ キ * ジ キ しく ジ ク し げ る し ず か し ず む した	した う した が う した しい シ チ	シ ツ	ジ ツ	し な し ぬ し の ぶ
誌 賜 諸	侍 慈 滋 磁 璽				
至 志 私 糸 使 姉 始 思 指 師 紙 齒 視 詞 詩 試 資 次 自 示 字 寺 次 耳 自 似 地 事 治 児 持					
* シ	ジ				
妨 侍 更 沢 騒 惨	暫	旨 伺 枝 刺 姿 祉 施 脂 紫 嗣 銅 雌			
寒 去	三 山 參 蚕 散 産 算 賛 酸 残	士 子 支 止 氏 仕 史 司 四 市 示 死			
さ ま た げ る さ む い さ む ら い さ ら に さ る さ わ さ わ ぐ サ ン	〔し〕				
ザ ン	シ				

<p>俊瞬旬巡盾殉准循潤遵庶署緒 如徐叙 升召匠抄床肖松昇 出述術春 純順準 勉初所書暑諸女助序除小少生正招相承昭</p>	<p>シ ュ ツ ジュ ツ シ ュ ン ジュ ン シ ヨ ジュ ヨ シ ヨ ウ</p>	<p>儒寿樹 囚舟秀臭愁酬醜襲執 充柔銃沒縱獸叔淑肅縮熟 種修衆受授需就州収周宗拾秋修習週衆終就集十住拾重從 祝宿</p>	<p>*シ ュ ジュ *ジュ シ ュ ウ ジュ ウ シュ ク ジュ ク</p>	<p>芝縛沒絞 締 絞占濕霜砂射赦捨斜煮邪勺尺爵昔 若寂朱狩珠殊趣 島 示 下写車舎杜謝者 借釈 石赤弱 手主守取首酒</p>	<p>しば しばる しぶ・しぶい しばる しま しまる しめす しめる しめる しも シャ ジャ シャ ク *シャ ク ジャ ク シュ</p>
---	---	---	---	---	---

紳診慎寝審震薪請刃迅陣尋尽
神深森進親 人仁神

素州子主守 酢巢 豆吹炊垂帥衰睡穂
國頭 水推

〔す〕

*シン
シン

ス *ス す ブ *ズ スイ

冗城浄剩蒸錠嬢昼讓釀盛 殖触飾囑 辱 城 伸辛侵振浸針娠
状乗常情条場定 成静色食植織職 調退知印 白心申臣新身信真

*ジョウ

シヨク

ジョク しらべる しりぞく しる しるし しろ しろ・しろい シン

沼装涉笑症訟姓将祥晶粧紹掌詔硝焦傷詳障彰獎衝磯償鐘井 丈
省消称唱商章象勝証照賞焼 性精政青星上

*シヨウ

ジョウ

<p>歳 斥析昔隻惜跡籍 拙窃撰 狹迫攻占洗染泉扇旋</p> <p>整 税説夕石赤席責積續関切折接設雪説節舌絶銭 責千川先宣浅専</p>	<p>*セイ ゼイ *ゼイ セイ キ</p> <p>せき セツ</p> <p>ゼッ</p> <p>ぜに せま せま せめ セン</p>	<p>鋭寸 施背畝瀬 井征姓牲盛婿誓請</p> <p>世 是生世正西成声制性青政省星清晴勢聖精製誠静</p>	<p>する するどい スン</p> <p>[せ]</p> <p>セ せ</p> <p>ぜ セイ</p>	<p>遂粹醉鍾 随髓枢崇吸 姿 好透 筋鈴涼 既捨砂 墨澄</p> <p>出 数 末 過 救少助少健 進 勧 統炭住</p>	<p>*スイ ズイ</p> <p>スウ</p> <p>すう すえ すがた すぎる すく</p> <p>すくう すくない すけ すこし すこやか すじ すず すずしい すすむ すすめる すでに すてる すな すべる すみ すむ</p>
--	---	--	---	--	--

染		妥情墮耐胎怠泰遠袋替滯	
率外供備國 空存村孫尊損存		太他多田打	
大太台体对待退帶隊		〔た〕	
そと そなえる		タ	
その そめる そら ソン		た ダ	
ソン		タイ	
葬装僧遭層操燥霜騒沿憎臟贈 造象像増蔵雑		添束促即	
造象像増蔵雑		賊	
足則息側測速俗族屬繞底注育卒		そう ゾウ	
賤銃潜遷薦鮮纖漸殫繕 船錢鍊戰選 全前善然		そえる ソク	
阻租粗措疎訴塑礎双壮奏桑莊掃巢窓喪搜 祖素組 早走宗争草相倉送創想		ソク	
〔そ〕		そこ そそぐ そだてる ソツ	
ゼン		ソ	
ソウ		ソウ	

<p>貸態大第代台題内弟平絶耐堪倒互宝滝宅沢扱拓卓託諾濁抱巧竹確</p> <p>ダイ</p> <p>*ダイ</p> <p>たいら たえる</p> <p>たおれる たかい たがい たがやす たから たき タク</p> <p>ダク</p> <p>だく たくみ たけ *たけ たしか</p>	<p>だす たすける たずさえる たずねる たたかう ただし ただしい ただちに たたみ ただよう タツ たつ ダツ たつとい たて たてまつる たてる たに たね たのしい たのむ たば たび たべる たま たまご たましい だまる たまわる</p>	<p>出助 携尋 戦 正直 達立断 尊 建谷種楽 旅食玉 卵魂默賜</p>	<p>たみ たもつ たりる たわむれる たわら タン</p> <p>*タン ダン</p> <p>チ</p> <p>ち ちいさい ちかい</p>	<p>民保足 倭炭单短 反男断团談 地池治知置 千血小近</p> <p>戲 丹担胆探淡端嘆誕鍛 段暖弾壇 値恥致痴遅稚乳</p> <p>〔ち〕</p>
--	--	---	---	---

ち・つ

[illegible]

<p>頭 稻踏糖膳鬨騰 胴 納問同動堂童働道銅導 峠 十遠通時特得徳読解説毒独読 溶</p>	<p>*トウ とう ドウ とうげ とお とおい とおる とき トク *トク とく ドク とける</p>	<p>展転田伝電 殿 斗吐途渡塗 奴怒 豆到倒凍唐桃逃透陶悼痘筒塔盜 土囃徒都 登戸土努度刀冬当投東島討党湯登等答統燈 〔と〕</p>	<p>デソ ト *トとド トウ</p>	<p>弦劍 連 呈廷邸抵帝訂貞通堤艇締笛摘滴迭哲撤徹 手丁低体弟定底庭停提程 的敵適鉄 寺照出天典店点 添殿</p>	<p>つる つるぎ つれる 〔て〕 て テイ テキ テツ てら てる でる テソ</p>
--	--	---	---------------------------------	--	--

と・な・に・ぬ

とげる	所年	遂床	*ナ な	納名菜内無	苗仲	ナン	軟
ところ	届	閉突	ナイ	直中長半流鳴	泣慰嘆	[に]	男南難
とし	整唱	滞	ない	投情夏七	斜鉛並涙悩並	ニ	二式児荷苦肉
とじる	飛止富留友供共	隣殿	なえ	何生波習鳴成慣	ニ	ニ	握憎逃濁鈍乳柔如尿煮鶏妊忍縫
トツ		乏泊弔	なおす		ニ	*ニ	
とどける			なか		に	に	
とどこおる			ながい		に	がい	
ととのえる			なかば		に	ぎる	
となえる			ながれる		ニク	にくむ	
となり			なく		に	くむ	
との・どの			なぐさめる		に	げる	
とぶ			なげく		に	ごる	
とぼしい			なげる		にし	に	
とまる			なさけ		ニチ	にい	
とむ			なつ		に	ぶい	
とむらう			なた		ニュウ		
とめる			なため		ニヨ	ニヨウ	
とも			なに		に	る	
			なま		に	わ	
ともなう			なまり		に	わとり	
とらえる			なみ		ニン		
とり			なみだ				
とる			なやむ				
			ならう				
トン			ならびに・				
ドン			なる				
			なれる				
[な]							

ぬ・ね・の・は

ぬく ぬぐ ぬし ぬすむ ぬの ぬま ぬる	抜脱 盗 沼塗	のぞむ のち のびる のべ のべる のぼる	望臨後延延述上登飲乗 伸		はか はかる ハク	賠 墓 図計測量白博 伯拍迫泊舶薄吐掃幕爆縛
[ね] ね ネイ ねがう ネッ ねぼる ねむる ねる ネン *ネン	音根 寧 願熱 粘眠寝粘 練年念燃然	のむ のる [は] ハ は バ ば ハイ	波派破葉齒馬場舞配敗 刃羽婆 杯肺背俳排靡廢 灰培梅陪媒		はく バク *バク はげしい はげむ ぼける はこ はこぶ はし はじめ・ はじめて はじめる はしら はしる はじる はた	交 暴 化 運橋 初始柱走 恥 畑
[の] の ノウ のき のこる のせる のぞく	野納能農 殘 除	惱 腦濃軒 載	倍買亮			

は・ひ

はだ はだか はたけ はたす はたらく ハチ ハツ はつ バツ	はな はなす はなつ はなれる はね はは はば はぶく はま はやい はやし はら はらう はり
旗機	畑果働八発初 花鼻放話放
膚裸	髮 伐拔罰閥
はる はる はれる ハン	離羽 幅 浜 腹 払針
春張晴反半犯判坂板版飯	萬板番 比皮否肥非飛悲費
帆伴班畔般販煩頒搬範纂藩晩蛮盤伴	妃彼批卑秘被疲碑罷避
ひ ビ	ひつじ ひと ひとしい ひとつ ひびく ひま ひめ ヒャク ビャク ヒョウ
ひえる ひかえる ひがし ひかる ヒキ ひきいる ひく ひくい ひさしい ひそむ ひたい ひたす ひたり ヒツ	
日火美備鼻冷	東光 率 引 低 久 額 左 必 筆 人 等 一 百 白 表 氷
尾微	控 匹 潜 浸 匹 泌 羊 響 暇 姫 漂

<p>舟踏 振降 震触紛憤墳噴 太船 冬 古奮 分粉奮 分文聞 丙並併柄閉幣弊 癖壁隔 紅 平兵陸 米 別</p>	<p>ふとい ふね ふむ ふゆる ふる ふるい ふるう ふれる フン ブン [へ] へイ ベイ へキ へだてる ペツ べに</p>	<p>賦譜侮舞 封笛 伏幅腹覆 吹含袋 伏札豚 縁払沸 分武部無歩風 深服副復福複 節防 再二 仏物筆</p>	<p>ブ フウ ふえ ふかい フク ふく ふくむ ふくろ ふし ふせぐ ふせる ふだ ぶた ふたたび ふたつ ふち フツ ブツ ふで</p>	<p>拍苗描 干翻 浜賓敏 扶附赴浮普符腹憤敷膚 俵票評標 秒病平開平屋 広拾品貧便貧 不夫父付布府負富婦</p>	<p>*ヒ ヨウ ビ ヨウ ひらく ひらたい ひる ひる ひるがえる ひろい ひろう ヒン ビン *ビン [ふ] フ</p>
--	---	--	--	--	---

ま・ほ・へ

[illegible]

マク		膜幕卷	まるい まわす マン		丸	みなもと みにくい みね みのる みみ みや ミヤク みやこ ミヨウ *ミヨウ みる ミン	源醜峰
まく	負孫誠				漫慢		実耳宮脈都名明命見民
まける	交		[み]		魅		妙
まご	増		ミ	未味身実幹右			眠
まこと	資混		み		詔操陵		矛夢霧
まじる・		又	みき				迎昔
まじわる		松	みぎ				麦向報
ます	待全政祭的		みことのり	短水湖自店			婿
ますしい			みさお		乱		蒸
まぜる	眼学	窓惑	みささぎ	道導満	密		娘
また	招	免	みじかい	三認緑	皆		結六
まち	守	幻豆	みさお	港南			旨
マツ	迷	繭	みささぎ				
まつ			みず				
まつ			みずうみ				
まったく			みずから				
まつりごと			みせ				
まつる			みだれる				
まと			みち				
まど			みちびく				
まどう			みちる				
まなこ			ミツ				
まなぶ			みつ				
まぬかれる			みとめる				
まねく			みどり				
まぼろし			みな				
まめ			みなと				
まもる			みなみ				
まゆ							
まよう							

む・め・も・や・ゆ

むら	村	胸	モウ	毛	盲	もんめ	勿
むらがる	群	紫		耗		[や]	
むらさき				猛		ヤ	夜
むれる	群		*モウ	網		や	野
むろ	室		もうける			ヤク	家
			もうす	望			屋
[め]			もえる	設			役
め	目	雌	モク	申	默		約
メイ	芽	銘	もしくは	燃	若	やく	訳
	名		もちいる	木		やさしい	葉
	命		モツ	目		やしなう	焼
	明		もつ	用		やしろ	養
	迷		もっとも	物		やすい	社
	盟		もと	持		やすむ	安
	鳴			最		やつ	休
めぐむ		恵	もとい	下		やど	八
めくら		盲	もとづく	元		やとう	宿
めぐる		巡	もとめる	基		やどる	宿
めし	飯		もの	基		やなぎ	破
めす		雌	もも	求	桃	やぶる	敗
めす		召	もよおす	者	催	やぶれる	山
めずらしい		珍	もり	物	森	やま	病
メツ	面	減	もる			やまい・やむ	和
メン	綿	免				やわらかい	
			もれる			やわらぐ	
[も]			モン			[ゆ]	
モ		茂		文			由
も		模		門			愉
		喪		間			

<p>裸雷頼絡酪卵乱濫欄覽 来落染</p>	<p>ラ ライ ラク ラン</p>	<p>[ら]</p>	<p>吏痢履離裏 利里理 力陸立律率略流留 柳粒隆硫虞慮 旅</p>	<p>リ リキ リク リツ リャク リュウ リョ</p>	<p>[り]</p>	<p>羊幼庸揚溶腰揺窯踊謡擁醉抑翌翼 装呼嫁 代世夜良用洋要容葉陽様養曜 浴欲横由四詭 夜因寄喜弱</p>	<p>よ よい ヨウ よう ヨク よこ よし よそおう よつ よぶ よむ よめ よる よる よろこぶ よわい</p>	<p>論唯 郵幽雄裕猶誘優融憂 床讓 弓夢 揺 与誉 油輸湯 遺友右由有勇遊 夕結 雪行 豐指 許 予余預</p>	<p>ゆ ユイ *ユイ ユウ ゆう ゆう ゆか ゆき ゆく ゆずる ゆたか ゆび ゆみ ゆめ ゆるす ゆれる ヨ [よ]</p>
---------------------------	-------------------------------	------------	--	---	------------	---	---	---	---

り・る・れ・ろ・わ

[illegible]

5 現代かなづかいの要領

- ・昭和21. 11. 16内閣告示第33号現代かなづかいをわかりやすくまとめたものである。
- ・ゴシックはとくに注意すべき点を示す。
- ・括弧内の漢字には当用漢字表以外のものも使っている。

「現代かなづかい」まえがき

- このかなづかいは、大体、現代語音にもとづいて、現代語をかなで書きあらわす場合の準則を示したものである。
- このかなづかいは、主として現代文のうち口語体のものに適用する。
- 原文のかなづかいによる必要のあるもの、またはこれを変更しがたいものは除く。

原 則

第1類

- 1 旧かなづかいの ゐ, ゑ, をは、今後 い, え, お と書く。

ただし、助詞「を」は、もとのままとする。

例 あい(藍) いる(居る) すいどう(水道) こえ(声) うえ
る(植ゑる) こうえん(公園) とお(十) あおい(青い) お
んど(温度)

▶ 本を読む 字を書く

- 2 旧かなづかいの くわ, ぐわ, は、今後 か, が と書く。

例 かがく(科学) かし(菓子) ゆかい(愉快) がいこく(外国)
いちがつ(一月)

3 旧かなづかいの ぢ, づ は、今後 じ, ず と書く。

ただし、(イ)二語の連合によって生じた ぢ, づ (ロ)同音の連呼によって生じた ぢ, づ は、もとのままとする。

例 ふじ(藤) はじる(恥ぢる) じ(痔) じしん(地震)
じょせい(女性) みず(水) ゆずる(譲る) まず(先づ)
ずつ(宛) なかんづく(就中) さかづき(杯) きづく(築く)
だいず(大豆) ずが(図画)

▶(イ)はなぢ(鼻血) もらいぢぢ(もらひ乳) ひぢりめん
(緋縮緬) ちかぢか(近々) いれぢえ(入知恵) ぢゃのみぢ
ゃわん(茶飲茶碗) みそづけ(味噌漬) みかづき(三日月)
ひきづな(引綱) つねづね(常々)

一ぢから(力) 一ぢょうちん(提灯) 一ぢょうし(調子)
一づえ(杖) 一づか(堰・束・柄) 一づかい(使) 一づかえ(仕)
一づかみ(掴み) 一づかれ(癢れ) 一づき(付・搦) 一づく(付く)
一づくえ(机) 一づくり(作・造) 一づくし(尽し) 一づけ(付)
一づた(薦) 一づたい(伝ひ) 一づち(槌) 一づつ(筒) 一づて(伝手)
一づつみ(包) 一づづみ(鼓) 一づとめ(勤) 一づま(妻・褌)
一づまる(詰まる) 一づみ(積) 一づめ(爪・詰) 一づよい(強い)
一づら(面) 一づらい(辛い) 一づり(釣) 一づる(鵜・弦・憂)
一づれ(遠)

▶(ロ)ぢぢむ(縮む) ぢぢらす(縮らす) つづみ(鼓) つづら
(葛籠) つづく(続く) つづる(綴る)

4 ワ, イ, ウ, エ, オ に発音される旧かなづかいの は, ひ,
ふ, へ, ほ, は, 今後 わ, い, う, え, お, と書く。

ただし、助詞「は」「へ」は、もとのままに書くことを本則とする。

例 かわ(川) あらわ^{アラ}ない(洗はない) すなわ^{スナハ}ち(則ち)
たい(鯛) おも^{オモ}います(思ひます) つい^{ツヒ}に(遂に) いう(言
ふ) あやう^{アヤフ}い(危い) ま^マえ(前) すく^{スク}え(救へ) さ^サえ(さへ)
か^{カホ}お(顔) な^{ナホ}お(尙・猶) こ^{コホリ}おり(氷) と^{トホ}おる(通る) お^{オホ}お
い(多い) お^{オホ}おき(大きい) と^{トホ}おい(遠い) お^{オホ}おう(覆ふ)
お^{オホカミ}おかみ(髪) と^{トドコホ}どこおる(滞る) お^{オホム}おむね(概ね)

▶わたくしは では には とは のは からは よりは
のでは こそは までは ばかりは だけは ほどは ぐら
いは など はあるいは もしくは おそらくは ねがわく
は おしむらくは または さては いずれは ついては

▶京都へ帰る ……さんへ

5 オ に発音される旧かなづかいの ふ は、今後おと書く。

例 あ^{アフヒ}おい(葵) あ^{アフ}おく(仰ぐ) あ^{アフ}おる(燭る) た^{タフ}おす(倒す)

第2類

1 ユ の長音は、ゆう と書く。

例 ゆう^{ユフガタ}がた(夕方) ゆう^{イウジン}じん(友人) りゆう^{リイウ}(理由)

〔備考〕「言ふ」は「いう」と書き、「ゆう」とは書かない。

2 エ 列の長音は、エ 列のかなに え をつけて書く。

例 ええ(応答の語) ねえさん(姉さん)

- 3 オ列の長音は、「おう」「こう」「そう」「とう」のように、オ列のかなに う をつけて書くことを本則とする。

例 おうじ(王子) おうぎ(扇) おうみ(近江) かおう(買は
う) こうべ(神戸) こう(斯う) なごう(長う) いちご
う(一合) はなそう(話さう) そう(然う) そうろう(候
ふ) ぞうきん(雑巾) とうげ(峠) たとう(立たう) と
う(塔) きのう(昨日) ほうき(箒) ほうび(褒美) り
っぽう(立法) あそぼう(遊ぼう) もうす(申す) よう
やく(漸く) たいよう(太陽) かえろう(帰らう) ろう
そく(蠟燭)

【備考】「多い」「大きい」「凍る」「通る」「遠い」などは「おおい」「
おおきい」「こおる」「とおる」「とおい」と書き、「おうい」「お
うきい」「こうる」「とうる」「とうい」とは書かない。

第3類

ウ列拗音の長音は、「きゅう」「しゅう」「ちゅう」「にゅう」のよ
うに ウ 列拗音のかなに う をつけて書く。

例 おおきゅう(大きう) きゅうよ(給与) あたらしゅう(新
しう) きゅうり(胡瓜) きゅうしゅう(九州) じゅう
(十) うちゅう(宇宙) にゅうがく(入学) ひゅうが
(日向) ごびゅう(誤謬) りゅうこう(流行)

第4類

オ列^{ヨウ}拗音の長音は、「きょう」「しょう」「ちょう」「にょう」のよ
うに、オ列^{ヨウ}拗音のかなに う をつけて書くことを本則とする。

例　とうきょう^{トウキヤウ}（東京）　きょう^{ケフ}（今日）　こんぎょう^{コンゲウ}（今晩）
しょうねん^{セウネン}（少年）　まいりましょう^{マキ}（参りませう）　よ
いでしょう（よいでせう）　じょうず^{ジャウズ}（上手）　ちょう^{テフ}（蝶）
にょう^{ネウ}（尿）　ひょう^{ヘウ}（豹）　びょう^{ビヤウ}（鉾）　みょうにち^{ミヤウ}
^{ニチ}（日）　みょうじ^{メウジ}（苗字）　りょうり^{レウリ}（料理）　りょう^{レウ}（猟）

〔注意〕

- 1 「クッ・カ」「グッ・ガ」および「ヂ・ジ」「ヅ・ズ」をいい分
けている地方に限り、これを書き分けてもさしつかえない。
- 2 拗音^{ヨウ}をあらわす や, ゆ, よ は、なるべく右下に小さく書く
（縦書きの場合。）。
- 3 促音をあらわす っ は、なるべく右下に小さく書く（縦書きの
場合。）。

